

# 人と自然が調和した持続可能な街づくりとの連携

## MIRAI を創る！

県立木更津東高等学校

### 《学校の概要》

本校は全日制普通科と家政科、定時制夜間部普通科のある学校です。

全日制は、創立113年目を迎える永い歴史の中で培われた女子校で、普通科、家政科合わせて457名の生徒が在籍しています。定時制は、創立73年目を迎える男女共学の夜間定時制の学校で、67名が在籍しています。

全日制、定時制併せて約3万人の卒業生がおり、その卒業生の多くが、地元で活躍しています。

千葉県内の県立高校では女子高は2校のみで、地域社会の発展に貢献できる品格のある生徒の育成に努めています。部活動、文化祭、体育祭、地域との連携行事が盛んに行われており、それらの活動を通して豊かな人間性と自主性が育まれています。

### 《テーマについて》

本校家政科のこれまでの取り組みを振り返ると、木更津市との様々な連携において、継続して毎年行われ、家庭科の学びを通して研究し、特に子育て支援や地域の活性化を中心に活動してきました。その木更津市の目指す街づくりは「オーガニックシティ」です。オーガニックな街づくりとは、人と自然が調和した持続可能な未来を創ることであり、それぞれを生かすことで自立し、繋がり、循環が生まれる。未来のために、高校生の私たちができる事は何なのか考え、行動・実践し、次世代につないでいきたいと考えました。

また、産学官連携として環境に配慮した生活を目指し、市内で生産された有機農産物を活用して、新商品の開発やPR活動を行い地域の活性化、次世代の子供たちの夢をサポートして、共生社会の実現を目指し、木更津市の未来(MIRAI)を担う子どもたちと共に歩み、その活動に貢献したいと考え、こうしたテーマを設定しました。

## 1 課題（実態調査と問題点の把握）

### (1) 実態調査 これまでのボランティア活動

- ・地域の保育園での保育ボランティア活動
- ・地域和菓子店とのコラボ和菓子開発、販売。
- ・木更津市主催のイベントでの弁当を開発販売、子供の遊びの展示ワークショップ
- ・コロナ禍における手作りマスク、マスクケースを社会福祉会館に寄贈
- ・食育ボランティア 公民館主催「ドキドキ宿泊体験」体験型の地域社会との交流体験

### (2) 問題点の把握と今後の取り組み

授業で学んだことを生かしながらのボランティアは、やりがいがあり、とても充実していました。しかし、毎年同じような企画内容となっているため、もっと自発的な活動で地域に貢献できるような内容を考え、学校と地域、企業との連携をとおして、社会と繋がりを持ち、未来につながる活動を行いたいと考えました。

新たな着眼点 ⇒ 「持続可能な未来の実現に向けて生産から販売までを体験」



循環型 社会

地域を活性化することに貢献したい！

\* 未来を創る子どもたちと繋がる活動 \* 地域の特産物や産業を研究する

## 2 実践活動（プロジェクト1）

### 子どもが主役のファッションショー ～未来の子供たちの為に種をまく～

#### （1）活動内容

80周年を迎えた木更津市の記念事業として開催された子どもたちが主役のファッションショー。テーマは、「木更津の未来に残したいもの」子どもたちはそれぞれのイメージで木更津の未来を考え、公募で集まったデザインを元に、本校生徒が一人一人のモデルに合わせて衣装をデザイン・作成し、靴やヘアメイクまでトータルコーディネートし、当日のフィッターとサポートを行いました。

#### （2）ファッションショーの目的

未来をつくる子供たちが主役のファッションショーをつくる。モデルひとり一人の未来への期待をファッションで表現し、国籍・性別・障害の有無を問わないファッションショーとなるようにする。

#### 実施計画の日程

- ①4月21日 家庭クラブ総会 鶴田氏講演会（概要説明）  
モデル募集、デザイン募集開始
- ②5月 モデル決定、  
全校生徒へボランティア募集の呼びかけ  
（参加希望98名）
- ③7月 21日、25日、27日 デザイン講習会  
（テキスタイルデザイン・グラフィックデザイン）
- ④8月 モデルとのヒアリング（アンケートをとり、デザインの希望や好みを聞く）
- ⑤9月 2日、6日、7日、9日、13日 各グループでの縫製開始
- ⑥10月1日 フィッティング（モデル参加）、ウォーキング練習  
市内美容師さんによるヘアメイク指導→本校生徒モデルで練習会  
通りリハーサル
- ⑦29日
- ⑧11月2日 前日準備（フィッティングルーム、ヘアメイクルームの準備）



#### 3日 本番

#### ①デザインを考える

＜製作チーム＞モデル30人（小学校、中学校の児童生徒）に合わせた服のデザインを行う。モデルの好みや身体的特徴をアンケート手描きのスケッチ→布のデザインにする。



小学生のデザイン



出来上がり作品



## ②衣装を縫って仕上げる

② 衣装を縫って仕上げる、コーディネートを考える。

プロデザイナーの特別講座、9回実施



## 公募デザインを利用して服に付けるロゴ作り

一般の子どもたちから公募したデザインを採用



## ③ヘアメイク案を考える。ウォーキング練習！

<ヘアメイクチーム>

ヘアメイクを考え当日仕上げる

モデルひとり一人のカルテをつくり、チームでコーディネートを考える。

プロの指導を受ける



## ④フィッター、リハーサル、当日の手伝い

<フィッターチーム>

フィッター リハーサル・本番のサポート。

ショーに出る前の時間は子ども達と和気あいあいとした雰囲気で行われ、ひとり一人の違った個性あふれる衣装と、ヘアメイクを行いました。本番はステージ脇まで付き添い、子どもたちをサポートしました。

### 木更津市主催者の感想

会場に向かう前に行った子ども達との写真撮影はみんなが笑顔で溢れ、心が和むような時間でした。そして、舞台上に立ち緊張しながらも凛として歩く子供たちの姿は、木更津市の明るい未来を想像できるショーでした。すべての過程で子ども達が主役となった今回のイベントは、共生社会の実現に向けた一つのものを作り上げたという達成感を味わうことができましたと思います。



**KISARAZU COLLECTION 2022  
FASHION SHOW**  
テーマは未来



木更津市制施行30周年記念事業  
2022年11月3日開催  
子どもたちが主役のファッションショー



### 3 取り組みへの反響

#### 「生徒の感想」

- \*自分たちでデザインしたものが形になり、想像の世界が広がっていくような感覚がありました。最初は不安の方が大きかったのですが、モデルの子の笑顔を見て達成感を感じました。
- \*今回のプロジェクトは私にとって単なる服作りのお手伝いだけではなく、様々な人とのつながりや思いやりの気持ち、一人一人の持つ個性の素晴らしさに気づくきっかけとなりました。これからも高校生の今しかできない様々な事にチャレンジして、自分自身が輝けるように前向きに頑張ろうと思います。

#### 「保護者・モデルの感想」

(保護者より) 説明会から当日までの4回、全部ワクワクドキドキ嬉しくて、楽しみにしている娘の様子を見ていて家族も幸せな時間でした。このような機会をいただき、ありがとうございました。

(モデルより) すごく優しいお姉さん、今でも大、大、大好きです。担当でないお姉さんも声をかけてくれてうれしかったです。私の大好きなヒマワリをドレスにしてくれてありがとう。

## 市民の皆さんから市役所に届いた声

\*素晴らしい企画でした。

\*まさに子どもたちが主役でしたね。これからは担う子供たちの未来は明るいと感じました。

\*ファッションショーで着ていた作品を間近で見たいので展示会をやって欲しいです。

### \* 発展 \*

11月3日のファッションショーは 2000 人近い人が観覧に来てくださり、ネット配信もされて大好評でした。しかし、製作過程で出た端切れ布。一つ一つに思いを込めて作った布を捨てることはできませんでした。

## SDGsの取り組み

### 製作で余った布を再利用する企画を考える。

小さな子供でも作れるものを企画 一緒にワークショップを計画。

地元商業施設で作品展示会・端切れ布のワークショップ・トークショーを実施。

展示された作品の隣には、モデルの子どもたちから『木更津東高校のお姉さんへ』というメッセージボードが送られ、心温まる感謝の言葉が日本語と英語で書かれていました。



展示作品

「端切れ布のしおり」

## 4 実践活動（プロジェクト2） 地域企業との連携商品開発

木更津市が行う有機農業産地づくりの一環として、株式会社 KURKKU FIELDS と本校が、共同開発しました。環境の負荷軽減を目指す循環型農業を実践する KURKKU FIELDS との連携は、自分達の手で『生産・商品開発(加工)・販売(消費)』までを行うことにより、有機農業・地産地消・6次産業化等について学びきっかけとなりました。

産学官連携の取組のひとつとして共同開発した今回の2品は、期間限定で KURKKU FIELDS 場内、オーガニックシティフェスティバルにて販売されました。


### (1) 食材の研究と地域産業について

- ・調味料の研究・・・オーガニック調味料について販売元社長に美味しい調味料についての講義
- ・食材の研究・・・木更津市ブランドポーク（林 SPF 豚） 養豚業 抗生物質、ワクチンを使用しない豚肉の飼育とブランド展開されるまでの試みと美味しい豚肉についての講義。
- ・地元の企業とのコラボ「試食を交えた体験型トークショー」

## (2) 商品開発 実施計画

**地域産業との連携事業** 「みどりの食料システム戦略緊急対策交付金」を活用

- ① **202年11月10日 講演会**  
内容：KURKKU FIELDSの理念や活動について説明  
講師：株式会社 KURKKU FIELDS 体験開発 Sec 岩佐 直美 様
- ② **202年 3月4日 場内の見学**
- ③ **5月中旬 作物の種まき・植え付け**  
(成長の様子を観察) KURKKU FIELDS のSNSで発信  
*<なえちゃんの苗日記>*
- ④ **6～8月 商品企画立案および試作**
- ⑤ **9月6日 商品企画説明会**
- ⑥ **9月15日 講演会**  
内容：商品開発・PR・情報発信の仕方  
講師：木更津市産業・創業支援センター  
らづBiz センター長 瀬沼 健太郎 様
- ⑦ **9月30日 作物収穫**
- ⑧ **10月中旬 商品プロモーション (市長訪問、ケーブルテレビ出演)**
- ⑨ **10月下旬 場内のイベントで販売**



### 3) 商品企画立案

<クルックフィールズの印象><さつま芋><新商品>をテーマに話し合い、意見を出し合って商品企画を具体的にしていく。

4) **商品の決定** 試作を繰り返し最終選考5点に絞り、それぞれの商品プレゼンテーションを行いクルックフィールズの方々に選んでいただく。 → **決定**

### 5) 販売方法、広報活動

木更津市創業支援センター長の講義を受け、広報活動の様々なアプローチ方法を学び、実践しました。ポップ、売り場装飾、キャラクター作り、パッケージ、ポスターなど協力しながら制作し

#### 商品開発プロセス

##### 【栽培・収穫】

約1年前からクルックフィールズの理念を学び、自らの手でさつまいもを植付け、月1回の成長観察や農業補助を続け、自らの手で収穫をしました。

##### 【検討会・試作会】

家政科の生徒全員でワークショップ、ディスカッションを繰り返し全18の企画アイデアの中から5つを選抜。その後、5チームで試作・試食を繰り返し、試行錯誤を続けました。

**商品企画案**



5種  
企画案

**販売決定**

**商品企画説明会を終えて**

**クッキー**  
「映える」  
「かわいい」

**ニョッキ**  
フードロスを少なく  
するアイデアが◎



この商品の強みは何か？どのようにアピールする？

## 5 広報活動

**広報活動**

ポップ・キャラクター

特大ポスター

ポスター

ラッピング

オリジナルキャラクター

制服の柄を使用

クッキーはクルックフィールズ内で1か月販売され、予定1000個を売り上げることができました。そして、11月3日のオーガニックフェスティバルでも、完売することができました。芋づるのモチーフや、パッケージやキャラクターをかわいくしたことで、子どもたちがたくさん集まってきてくれて大好評でした。

### (プロジェクト1) 広報

#### きさらづプロモチャンネル

木更津市 YouTube チャンネルでの特集

- <https://youtu.be/ubz-tzpPnUc>
- <https://youtu.be/teAF4JpXqYU>
- <https://youtu.be/vCwwv5TX5ys>
- <https://youtu.be/dnVlHgAqwoY>
- [https://youtu.be/ItEuiiP\\_UM](https://youtu.be/ItEuiiP_UM)



<https://www.tenbo.tokyo/kisarazumodel>



# 子どもたち 自作の服でファッションショー

モデルだけでなく衣装の作成、ヘアメイク、司会も子どもたちの手で行うファッション・ショー「KISARAZU COLLECTION 2022」が3日、木更津市の鳥居崎海滨公園で開かれた。

ショーでは公募で選ばれた市内の小学1年から中学3年までの子どもたちがモデルになり、その衣装も募集し

木更津の  
海滨公園

た。木更津東高校の生徒が、モデルの意見も取り入れて衣装をデザイン。靴やヘアメイクともトータルコーディネートした。

モデルたちは木更津港の青い海をバックにしたステージで、ヒマワリをアレンジしたり、「不思議の国のアリス」の世界をイメージしたり、市のマ

スコットキャラクター「きさボン」をデザインしたりした思い思いの衣装で約500人の観客を前にポーズも決めた。モデルたちは「みんなの前で（ステージの）ランウェーを歩いて気持ちよかった」と喜んでた。

プロデュースは市内に拠点があるファッションブランドの「tenbo」。市内の美容室も子どもたちをサポートし、新規採用の市職員たちが衣装制作代をクラウドファンディングで集めて支えた。（堤恭太）

2022. 11. 10 朝日新聞



最後に30人のモデルらが全員ステージに上がり拍手に手を振ってこたえた



木更津港をバックに思い思いにポーズを決めた11人、木更津市の鳥居崎海滨公園

毎日新聞  
2022, 11, 16

デザインし、10月の完成を目標としている。CPはふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の「ガバメントクラウドファンディングプロジェクト」のページに掲載している。330万円を超えた場合は、イベントの運営費に充てる。ショーの詳細は木更津市が公式ホームページなどで公開している。【堤恭太】

## 小中学生の案、衣装に

木更津東高 11月にショー開催

木更津東高校の生徒たちが、木更津市の小中学生から募集したデザイン案を基に制作した衣装を披露するファッションショーが11月3日、同市富士見3の鳥居崎海滨公園で開催される。木更津市などで行く実行委員会では、衣装作りに必要な330万円をクラウドファンディング（CFD）



ファッションショーに向け、衣装作りを助む木更津東高校の生徒たち。木更津市提供

チバテレビ 2022, 11, 29放送



共生社会を目指して



テーマは「MIRAI」



10月26日



# サツマイモの甘み生かす

## 木更津東高生が2商品考案 複合施設と共同



県立木更津東高校（木更津市木更津）の生徒たちが、秋の味覚サツマイモを使った新メニュー2商品を、農業と食、アートの複合施設クルックフアイルス（同市矢部）と共同開発した。自分たちの手で有機栽培し、商品化まで1年がかり。同施設で29日、サツマイモの甘みをタイレクトに伝えるクッキーとニョッキの期間限定販売が始まった。

### 期間限定販売 栽培も担当、1年かけ

プロジェクトは、同校と学連携の取り組みとして1地消、六次産業化について循環型農業を実践するクル年前にスタート。家政科3学中、18チームに分かれてクックフアイルス、市の産官 年生36人が有機農業や地産してワークショップとデイス



●特設テントで商品化したクッキーを販売する木更津東高生。29日、木更津市。●生徒手作りの包装による「ニョッキもそのまんまクッキー」●「ほんわりさつまいもニョッキ」

カッションを繰り返した。アイデアは五つに絞り込み、さらに試作や試食、試行錯誤を経て、プレゼン結果、二つに決定した。サツマイモは「べにはるか」をクルックフアイルス内の農場で生徒自ら有機栽培し、今秋に収穫。同施設のシェフからアドバイスも受けて商品改良を進めた。完成したのが「苗から育てたさつまいもそのまんまクッキー たべてほっこり紅温菜（べにはるか）」（250円・1袋5枚入り）と「ほんわりさつまいもニョッキークリームソース仕立て チップス添えて」（千円）。

クッキーを担当した渡辺華奈さん（17）は「かわいらしくしたかったので、サツマイモに似せた見た目にしました。シェフからのアドバイスでアーモンドを加えてサ

クサク感を高めた」。ニョッキについては、佐々木茜さんが「もちもち感を出すために粉の種類や配合を何度も変え、トッピングも工夫した。皮ごとすべて使い、フードロスもなくせるように考えた」と語る。

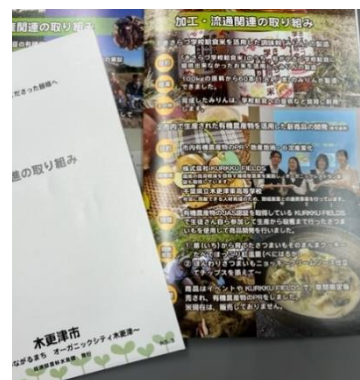
いずれも昨年11月からクルックで学んできた成果が形になり、出来栄に満足そうだ。

販売期間は、クッキーが29日から約1カ月間、クルックフアイルスで、11月3日に開催される「木更津オーガニックシティフェスティバル2022」（同市潮浜の潮浜公園）でも300個限定で販売する。ニョッキはクルックフアイルス内のタイニングで3日まで。

2022, 10, 30  
千葉日報



J:COM さんに取り上げていただきました。  
出演日：10月21日(金)10時～、LIVE ニュース



## 6. 評価と今後の方向性

### (1) パートナースhip

これからの未来を生きる子どもたちが、多くの人が関わりあいながらひとつのものを作り上げる喜びや達成感を味わうという経験を通して、多様性を受け入れ、誰もが心豊かに暮らすことのできる共生社会を実現すると感じました。

### (2) 未来ビジョン

子どもたちの考える「未来の木更津に残したいもの」「未来へつなげたいもの」を形にすることにより、明るい未来に向けた思いを感じました。

私たちの活動が子どもたちへ「夢」や「希望」を与えるとともに、「ふるさと木更津」に対する愛着を感じてもらえたと思えました。

#### \* 学校の活性化

#### \* 行動力・実践力・コミュニケーション力・未来を創る人

#### \* SDG s の意識を持ち続ける

- ・家庭クラブ委員が中心となって全学年・学科の枠を超えて活動が広がり、学校が活発化した。
- ・学校と地域の企業、子どもたちと関わることができました。
- ・生活に問題意識を持ち、よりよい生活を目指して取り組むための行動力、実践力、コミュニケーション力が付き未来をつくる人として成長しました。
- ・循環型社会について理解を深め生活に取り入れようとする力が身につくにつれて、SDG s の意識を生活の中に持ち続けることを意識できるようになりました。

これらの経験は私たちにとって単なる商品開発、販売や服作りのお手伝いだけではなく、様々な人とのつながりや思いやりの気持ち、ひとり一人の持つ個性の素晴らしさに気づききっかけとなりました。今回はモデルとなった小中学生との関わりであったが、この繋がりを大切にして今後は近隣の小・中学校を訪問して、交流の場を広げ連携を取りながら地域を活性化させ、子どもたちが活な未来を築くためのお手伝いをしたいと考えています。

本校の特徴を生かして、生徒の活動を多くの方に知っていただくと同時に、生活に役立つ情報を継続的に発信していきたいと思えます。

### 参考

#### 【産学官連携】

令和4年度、国が「みどりの食料システム戦略」を推進するため交付する「みどりの食料システム戦略緊急対策交付金」を活用し木更津市の有機農業推進事業を進めた事業の一環として、本校 × 環境にもやさしい循環型農業を実践する KURKKU FIELDS × 木更津市 による市内有機野菜を活用した新商品開発

#### 【KISARAZU COLLECTION 2022】

80周年を迎えた木更津市の記念事業として開催された子どもたちが主役のファッションショー。モデル30名のために製作した衣装代(布代)は木更津市によりクラウドファンディングを実施。(1,445,000円)